

### 代々木病院の理念

ヒューマニズムにもと  
づく医療・介護の実践

# くらしと健康

発行 医療法人財団東京勤労者医療会 1部60円

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7

TEL (3404) 7661

E-mail address yo\_sosiki@tokyo-kinikai.com

友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

# 千駄ヶ谷駅にエレベーター設置が決定!



要請団の面々。(JR東日本東京支社の前にて)

## バリアフリーの駅を目指した署名運動が結実

# 短期間に3200名が署名

6月8日、3200名の署名を携えて、JR東日本東京支社に対して千駄ヶ谷駅のエレベーター早期設置を要請しました。

稼働を目指して頑張るという回答をいただきました。

「エレベーター設置予定を日本共産党参議院議員小池あきら東京事務所にて調べていただき、設置の計画はあるが夏頃まではっきりしないというのでした。」

当日参加したのは、代々木病院事務長大葉清隆、友の会会長八田満穂、日本共産党小池あきら参議院事務所の亀井寿さん、友の顧問の渋谷区議会議員すのこの茂さんら8人。

「これに対し、企画部副課長はじめ4人が同席したJR東日本側からの回答は、駅エレベーターの設置計画を提出した渋谷区からは「財政的に厳しい」と

「理由から同意を得ることができなかったが、千駄ヶ谷駅についてはJR東日本東京支社でやらざるをえないと判断し、今年度中の「コラム『手術台』の寄稿がきつかけで」

「くらしと健康」4月号の「手術台」が運動のきっかけでした。「自転車転倒して歩行困難になった今、千駄ヶ谷駅にエレベーター

がないことがこたえ。代々木病院に通う患者さんは痛みや動悸をこらえて千駄ヶ谷駅を利用している」という内容の記事でした。

「そうだ! エレベーターがないことがこたえ。代々木病院に通う患者さんは痛みや動悸をこらえて千駄ヶ谷駅を利用している」という内容の記事でした。

### 声を上げ、願いを集めた

#### 署名が早期実施に

5月の連休明けから具体的な署名運動を始めました。駅頭で、待合室で、友の会のカウンターで署名を呼びかけました。来院された患者さんには返信用封筒に入れた署名用紙を2階の中央カウンターで手渡しました。署名の輪は大きく広がり、連日郵送で多くの署名が送られてきました。

「5月の連休明けから具体的な署名運動を始めました。駅頭で、待合室で、友の会のカウンターで署名を呼びかけました。来院された患者さんには返信用封筒に入れた署名用紙を2階の中央カウンターで手渡しました。署名の輪は大きく広がり、連日郵送で多くの署名が送られてきました。」

署名運動を行い、6月5日までの駅頭宣伝で770筆もの署名が集まりました。高齢者や、車椅子・ベビーカー



待合室で患者さんに署名のお願い

友の会事務局長 清見温子



千駄ヶ谷駅頭で週2回訴え

## 手術台

わが国は、いま、国の将来を決める選挙、目前である。全力をつくさねば、と

わが国は、いま、国の将来を決める選挙、目前である。全力をつくさねば、と思う。それとは別にわが国は、もっと重要な時期にさしかかっている。これからの5年間は最後のリレー・ゾーンなのである▼第二次大戦で民衆が受けた被害(原爆・東京下町大空襲・沖縄地上戦・満蒙開拓団の悲劇など)、中国・東南アジアでの兵士たちの被害・加害の記憶は、いま引き継がないと消えてしまう▼被爆でいえば5年経つと「はっきり語れる」人は、死ぬか老衰してしまう。残る被爆者は投下時5歳未満、記憶が乏しい人になる。悪魔の兵器の残酷さをリレーする、大掛かりな運動が始まっている▼「ノー・モア・ヒバクシヤ世界遺産の会(略称)」という。被爆の実相、被爆者の生き様・闘いの中でえた哲学まで記録を収集、ユネスコ「世界記憶遺産」に登録し、全世界の教科書の中で使うことを義務付けようとするものである。戦いに明け暮れてきた人類である。負の遺産も「文化遺産」と位置づけるのが肝要である。(ま)